

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和4年度 1月号

48日間の3学期が始まりました

先の見えないコロナ第8波が続いています。子どもたちの欠席の多さもさることながら、濃厚接触等で出勤できない職員もあり、影響の大きさにつついたため息が出てしまう毎日です。(診断の有無にかかわらず、家族の風邪症状による欠席も出席停止扱いです。)

そんな中でも、御小の子どもたちの姿には、希望がたくさんです。



始業式では3人の代表児童(裏面)が、「3学期にがんばりたいこと」を、その子らしさいっぱいにスピーチしてくれました。5年生の澤入陸さんは、「間違ってもいいからたくさん発表したい」「6年生でみんなを引っ張っていくためにも、6年生に向けて5年生のうちからリーダーシップをもち、みんなを引っ張っていきたい」と話してくれました。

3学期は次の学年のゼロ学期とも言われます。5年生の新年の誓いには、「最上級生」という文字がたくさんありました。どの子も着々とその準備ができていくんだな、と嬉しくなりました。

また、この日は特別日課掃除なしの日でしたが、時間が空いた6年生があちこちをきれいにしてくれていたのです。教室や空き教室はもちろん、トイレや冷たい水の水道など、気持ちよく働いてくれる姿に、「6年生は御小の宝物」だということを痛感しました。



オンラインでの始業式



その子の良さが輝く3学期に

始業式では、「わたしはあかねこ」という絵本を読みました。
こんなあらすじです。

白と黒の両親から1匹だけ、赤く生まれた「あかねこ」。優しい家族はそのことを心配して、変える方法を考えてくれるけれど、「あかねこ」は自分の赤い色が気に入っています。ありのままの「あかねこ」を受け入れてもらえないことが辛く、「あかねこ」は家を出る決心をしました。そして、旅先で…… (ハッピーエンドです。続きをおたのしみに)

学校にもアスペルにありますが、ぜひ手にとっていただきたい絵本の一つです。

こんなにも、優しくがんばりやの子どもたちですが、各調査の結果を見ると、決して自己肯定感が高いとはいえません。どの子にもある、その子らしさ、その子のよさをまずは自分で見つけてもらいたいという願いが伝わりますように、という思いで読んだ絵本です。

短い3学期ですが、職員一同「ボイスシャワーでほっかいっぱいパワーを引き出す」3学期にしたいと思います。ご家庭でも、たくさんの「ボイスシャワー」をお願いします。

(終業式の夕方に細菌性腸炎を発症し、健康のありがたさを痛感した校長 仁平美和子)

関係のみなさまお世話になりました。すっかり元気です。

